

福山市子どもの生活に関する実態調査の概要（案）

1 調査目的

2014年（平成26年）1月に施行された「子供の貧困対策の推進に関する法律」とそれに基づく「子供の貧困に関する大綱」において、地方公共団体は、子どもの貧困に対する施策を実施するために必要な調査研究を行うものとされており、本市では「子どもの貧困対策計画」を一体化した「福山市ネウボラ事業計画」（2020年度～2024年度）の策定に当たって、2017年度（平成29年度）に「福山市子どもの生活実態調査」を実施し、結果を施策に反映している。

本調査は次期計画の策定に向け、子どもの生活状況の実態や家庭の状況、市の施策へのニーズを把握し、来年度以降に必要となる施策の検討につなげることを目的とする。

2 調査対象者等（広島県が実施する調査と対象者・方法・スケジュールは同様とする）

（1）調査対象者

福山市内の公立小中学校のうち学校単位で選定した次の者

ア 小学5年生とその保護者 約1,500世帯

イ 中学2年生とその保護者 約1,500世帯

（2）調査方法

調査対象校に在籍する小学5年生、中学2年生への学校を經由した調査票の配付、回収

（3）スケジュール

調査票配付：(学校→児童生徒)	2023年（令和5年）7月上旬
〃 回収：(児童生徒→学校→業者)	〃 7月中旬
中間報告（速報値）	〃 9月下旬
最終報告（報告書）	2024年（令和6年）3月中旬

3 調査項目

2023年度（令和5年度）に広島県が実施する「広島県子供の生活実態調査」の調査票を基本に、本市の施策検討に必要な独自調査項目を追加して実施する。

（1）小学生・中学生用 調査項目の概要

ア 性別について

イ 学校の授業以外の勉強方法・時間について

ウ クラスの中での成績について

・上のほう、まん中あたり、下のほう など

エ 授業がわからなくなった時期について

オ 将来の進学先（専門学校や大学等）について

カ 学校のクラブ活動等への参加について

- キ 食事や睡眠等の生活習慣について
- ク 悩みごとの相談相手について
- ケ 生活の満足度（10段階評価）について
- コ ここ半年間のふりかえりについて
 - ・私は他人に対して親切にしている、心配ごとが多くいつも不安だ など
- サ 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大中、現在との生活の変化について
- シ 今までに受けたつらい体験について
 - ・悪口を言われた、暴力を受けた など
- ス 家や学校、友人宅以外の居場所について
- セ ヤングケアラーについて
 - ・ヤングケアラーという言葉の認知度や家族の世話の状況 など
 - ・支援ニーズ（学校や周りの大人に助けてほしいことや相談方法）
- ソ 広島県の子どもに関する政策の強化項目について

福山市独自項目

（2）保護者用 調査項目の概要

- ア 居住地や保護者の年齢・学歴、家族構成、世帯年収など
- イ 保護者の就労状況について
- ウ 子どもが通っていた教育・保育施設等について
- エ 子どもとの関わり方について
 - ・ゲームやインターネットの利用ルールを決めているか など
- オ 子どもの将来の進学先（専門学校や大学等）について
- カ 子育てや重要な事柄の相談先について
- キ 経済的な暮らしの状況や満足度等について
 - ・食料が買えないことがあったか、光熱費の未払いがあったか など
- ク 新型コロナウイルス感染症の拡大前と拡大中、現在との生活の変化について
- ケ 就学援助や生活保護等の支援制度の利用状況について
- コ 広島県の子どもに関する政策の強化項目について
- サ 子どもや保護者にとって必要な市からの支援について
 - ・子どもを預ける場の提供や経済的支援 など
- シ 子どもに関する悩みについて
 - ・相談相手がない、配偶者が子育てに協力的でない など

福山市独自項目